

農作物生育・技術情報8号

日高農業改良普及センター日高西部支所

JA平取町 JA門別町 JAとみかわ

1 水稻生育状況 中苗:ななつぼし

本年は稈長が長めで、穂数は平年より多く倒伏しやすい状況です。倒伏した稲が多い水田は別刈りを行い、品質の低下を防ぎましょう。また、登熟のバラツキによって刈り遅れにならないようにしましょう。

生育状況 (9/1現在)			〈技術対策〉
項目	26年	平年	
稈長	78.3cm	77.8cm	<ul style="list-style-type: none"> ・降雨など水が停滞している場合は、速やかに排水対策を行い、土壌表面を乾燥させる。 ・倒伏した稲は、茎葉のムレや腐敗などが発生しないように、溝切りをするなど土壌の乾燥に努める。 ・いもち病が見られた水田は、発生した部分を別刈りし、ほ場から搬出する。
穂長	16.5cm	17.3cm	
m ² 穂数	653本	532本	
籾黄化率	28.2%	22.4%	
成熟期	—	9月18日	
生育の遅速	+3	—	

2 主要野菜の生育状況

作物名	生育状況	技術対策
トマト ハウス桃太郎 桃太郎8 桃太郎ギガ	<ul style="list-style-type: none"> ・5月定植で6～7段目、6月中旬定植で4段目以降を収穫中。 ・灰色かび病、葉かび病、うどんこ病、アザミウマ類等や葉先枯れ症状が発生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月は最低気温も急激に下がるため、最低気温が12～13℃を下回る場合は、裂果防止のため、温度管理に注意する。 ・病害虫発生初期を捉え、早期防除を実施し、葉先枯れ症状が発生している場合は、摘葉をする。
きゅうり ちなつ オーシャン	<ul style="list-style-type: none"> ・8月中旬から収穫開始。 ・生育は順調で、子づるからの収穫が進んでいる。 ・うどんこ病の発生が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うどんこ病、べと病の防除には予防効果の高い薬剤と、治療効果を伴う薬剤を使い分け、防除効果を高める。 ・アブラムシ類、ハダニ類は発生に注意し初期に防除する。
ハウス軟白ねぎ ホワイトロード等	<ul style="list-style-type: none"> ・アザミウマ類、アシグロハモグリバエ、葉枯病が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハウス内外の除草を徹底する。 ・葉先枯れ部分に病害が感染しやすいので葉先枯れが生じた時点で農薬を散布する。
アスパラガス (ハウス立茎) スーパーウェルカム	<ul style="list-style-type: none"> ・斑点病、アザミウマ類の発生が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハウス周辺の除草を徹底する。 ・昼夜温に差が出始め、病気が発生しやすくなるので温度管理に注意する。

※日高管内でネギアザミウマに対する合成ピレスロイドの抵抗性が確認されました。

この抵抗性は抵抗性の強いタイプⅣです。今後は合成ピレスロイド系薬剤の連用を避け、ローテーション防除を行きましょう。

3 畜産

●サイレージ用とうもろこし生育状況（9月1日現在）

作物名	生育状況		生育期節	遅速日数	登熟状況
	項目	26年			
サイレージ用とうもろこし	稈長	276.1cm	275.8cm	乳熟進度率 90%	+4 好天が続き、登熟の進みが平年より早くなっています。

※黄熟期の平年は9/27ですが、収穫適期が早まる可能性が高いです。
熟期や枯れ上がり状況に注意し、早めに収穫準備をしましょう。

4 畑作

(1) てんさい

ほ場をよく観察し、てんさい栽培技術情報を参考に病虫害被害拡大防止に努めましょう。

表 褐斑病、葉腐病の病徴、発生環境

病害名	病徴	発生環境	防除対策
褐斑病	病斑内部は淡褐色、周囲は褐～紫紅色を呈する。茎葉が褐変すると後に枯死する。	高温（24～28℃） 多湿（湿度85%）	薬剤の使用時期を考慮し、茎葉散布する。
葉腐病	病斑は褐～黒褐色で、葉腐れ症状を呈する。茎の主脈が侵されると、葉は折れやがて枯死する。	高温（25～30℃） 多湿（湿度95%） 窒素施肥の過多	薬剤の使用時期を考慮し、茎葉散布する。

ヨトウガ、アシグロハモグリバエ＝ほ場を観察し発生を確認したら防除しましょう。

(2) 秋まき小麦（きたほなみ）

適期は種を心がけ、越冬前の生育を十分確保しましょう。

表 秋まき小麦（きたほなみ）のは種管理例

は種時期	は種量	基肥量(10aあたり)	備考
9月15～20日	170～200粒/m ² (千粒重、発芽率を考慮し、は種重量を決定)	窒素：4kg リン酸：15kg カリ：10kg 苦土：4kg	耕起前に堆肥散布、心土破碎を施工 堆肥、休閑緑肥の施用量により、カリを加減

注) 越冬前目標生育：葉数6枚、茎数1,000本/m²

注) 土質は火山性土

秋の収穫作業に備え、機械の点検整備を行いましょぅ!!